



幅広く学び、強みを深化させ、信頼を得ていこう 失敗を恐れず自分の可能性を信じて！

研修農場新聞

2面拡大号

(公財) 農林水産振興財団
八王子研修農場
(発行責任者)
農場長 小寺孝治
(無料)

この4月から新たな6期生と職員が加わり早くも3ヶ月が経過。厳しい暑さとも戦いながら、皆さん頭と体をフルに使い、新規就農に向けて日々研鑽に励んでいる。

多くの経験を積み重ねる

新規就農に向けて、2年目を迎える2年生(5期生)は、将来の就農モデルでの実証栽培が始まり、派遣研修や講義等で毎日大忙しだが、皆、生き生きと充実した日々を送っている。

1年生(6期生)は、毎日が新たな発見や体験ばかりで、無我夢中のうちに3か月が経った。農作物の成長スピードや、その間には見たこともない害虫や病害等への対応、出荷調整や販売等を経験し、日々新しい知識やノウハウ等を吸収している。

今季も非常に厳しい暑さが続いている。今後、暑さに慣れる必要があるが熱中症対策グッズは必須である。農作物も暑さで高温障害を受けたり、品質低下や、病害虫等に侵されやすくなる。我々の熱中症対策のよ

うに、作物の顔色をいち早く気づいて、対応策をとってあげることが良品生産に結びつく。そのためには、日々の観察と迅速な対応が何よりも大切になる。

研修生の今

4月から早くも3ヶ月が経つが、研修生達に、この間の感想などを語ってもらったのでその一部を紹介する。質問①感想など、②今後自分で力を入れてやるべきこと、③現在の不安や課題等(③は末尾に纏める)

第5期生の感想など

太田さん…①4月に入り、ほとんどの作業を一人でや



4月の顔ぶれ(左から2年生4名、右5名が1年生)

る事になって、改めて農業の大変さを感じた。同時にエタマメがきちんと実った時や豆の美味しさに感動した。生き物に感謝を込めながら今後も農業に取り組んでいきたい。

②SNSの東京のエタマメ



王子として活動をはじめた。ここ数ヶ月でファンが増えてきており、今後、経営にも生かせるブランディング等も検討していきたい。同時に地域の方々との人間関係を大切にしていこう。

高橋さん…①早熟フット

コーンは地温や気象条件に苦勞しつつも地道に栽培管理を行い、無事に収穫・出荷。栽培の難しさと達成感の両方を味わえた。モノづくりの面白味を感じている。

②早熟や抑制など時期に応じたスイート

コーンづくりのコツを掴む



こと。新しうがは8月頃から収穫・出荷できるような作業に注力したい。農福連携についても農家派遣などで学びたい。

田中さん…①3月に定植したキャベツとブロッコリーを収穫してアカデミーの直売で出せたことが嬉しい体験でした。寒い時期にはトンネルをし、野菜の状態を見て管理等を行い、喜んで買っていたことが自信に繋がりました。



②野菜の育て方を勉強すると同時に、コマツナの出荷調整では体負担のない方法で品質を落とさず、より早く作れる方法を、派遣農家さんのやり方等も参考にしながら身に付けていきたい。

丹治さん…①就農計画の方向性を定めるため、あえて作柄が重なる作目に取り組んでいる。多忙な日々を音上げることもありますが、それでも着実に以前より成長している自分を実感できている。



②2年時から目まぐるしい毎日学びを整理できずにいましたが、不完全でも記録し、まとめる習慣を身につけたい。また、今後の農業経営を安

定させるため、販路開拓やマーケティングについても取組んでいきたい。

③(共通)現在の不安や課題等については、収穫後の調整場・保管場所等の確保、農機具・資材等の置き場等の確保、販路の確保など、就農後の営農環境の整備に関するものが多い。

4月に入講した第6期生からも同様に感想などを語ってもらったので紹介する。

第6期生の感想など

石谷さん…①アカデミーに入講し感じたことは1日1週間1ヶ月が本当に短いと言ったことです。それほど毎日が勉強、濃い1日なのだと実感しています。何より毎日作物の変化を見て、触

れて楽しいと言っているだけでも強いです。

②私は幼少期から苦手の物事から逃げる傾向にありましたが、突然、文系から理系に変わり計算が苦手。施肥基準を用いた施肥量計算や農薬の希釈など、今後たくさん計算をする必要がある。作物への知識と並行して計算の苦手意識を解消していくことが今の目標です。スモールステップを意識して、毎日が積み重ねたことを考えています。

大柳さん…①指導員の方々の知識や実践力に圧倒された3ヶ月。つきつきの指導に感謝ですが、自分自身は一度ではなかなか覚えら

4～6月の主な出来事

(4月)

- ・7日 入講式、15日 瑞穂町と武蔵村山市の農家挨拶
- ・17日 委託契約KOM、18日 直売、24日 農水Web勉強会
- ・25日 事業説明会、調整課視察、30日 果菜類定植
- ・フードバンク提供 11、14、18、21、23、25、28日

(5月)

- ・1日 調整課来所、2日 八王子派遣農家挨拶、7日 事業報告
- ・12日 セントラルプラザ来所、9、16、20日 ミニ直売
- ・19日 農業振興事務所打合せ、18日 ハウス設置研修
- ・フードバンク提供 2、9、12、14、16、19、23、26、28日

(6月)

- ・4日 関東農政局来所、直売、5日 事務局長来所
- ・6日 委託業者打合せ、9日 理事会、10日 青梅市挨拶
- ・12、19、27日 直売、19日 予算ヒアリング、24日 評議委員会
- ・フードバンク提供 6、9、11、13、16、20、23、25、27日

れずに必死です。理論的な栽培の重要性を
実感しています。



②2年目以降の作付計画や就農計画に向けてより情報収集に取り組み、就農時に何を作っていくかを明確にする。また土壌分析等の勉強もしていきたい。

澤田さん…①スタートから想像していたより座学は少なく感じる。日々農作業を行なって身体に覚えこませたい。2年間と短い時間です。2年間で短期間で自分の畑で農業ができる事を楽しみにしています。



②現在指導員の方に教わりながら作業をしています。少しづつ教えていただいた事を再確認し、的確な作業が行えるよう、たくさんの方をもっと覚えていきたいと思っています。

立山さん…①4月は農業散布や栽培管理の作業を丸暗記する状態だった。5、6月になり生育過程や病害虫発生状況を実際に目にする事で、日々の作業の点と点がつながる感覚がある。



②指導員のディレクションがない状態でひとりで栽培管理ができるのかコミュニケーションしてみよう。また就農地を決めるにあたり、様々な農地をみたり、情報収集をしながら進めたい。

安留さん…①野菜の販売は思った以上に手間がかかり、調整作業もただ洗って袋に詰めるだけでなく、さまざまな方法があることを学びました。実際に直売を経験した際には、様々なお客様へのニーズ対応が必要なのも実感しました。



②将来に向けて、自分で作る作物の選定や2年次に行う年間業務計画を少しずつ立てていきたい。加えて、SNSの運用にも積極的に取り組みたいと思います。ミスを恐れず挑戦を続け、成長していきたいです。

③(1年共通)業界用語が飛び交うため、用語を身に付ける。農業や肥料の使用量やタイミング等、様々な栽培管理技術をしっかりと体に叩き込んでいきたい。農場での栽培方法と就農先での栽培方法のギャップにもやや不安。徐々に生産性をあげていきたい。思い描く将来像を着実に実現するために、日々の作業記録をより丁寧に残していきたい。

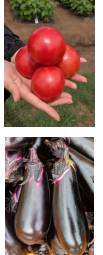
以上、研修生の感想等を聴き、改めて一人一人の課題にも向き合い、協力・連携しながらしっかりと対応していきたい。

これまでの天候

平均気温は4月が高く、5月はほぼ平年並み、6月は一九四六年の統計開始以降、第一位の高温となった。今後もラニーニャ現象などの影響により、平年を上回る暑さと夏の長期化が予想されている。熱中症や農作物への影響も懸念されており、できる限りの対策を講じる必要がある。

各種SNS情報

研修農場では、研修状況等をエックスやフェイスブック、インスタグラム、ユーチューブで配信しています。ぜひ「東京農業アカデミー八王子研修農場」と検索してみてください！フォローもよろしくお願いします！
なお、直売情報をいち早くお知らせするためLINE Eでの配信も行っています。友だち登録はトーク検索で「東京農業アカデミー八王子研修農場」を選択又は左下QRコードより可能。



研修農場スナップ

2025年 4~6月



1年生は4月に各種農業機械の安全講習を行います。その後は圃場実習で様々な機械を動かすようになります。



4月早々には植物の気持ちを知るという視点で、様々な要因との関係について、農場長からの特別講義



2年生は各自の就農計画づくりでデスクワークも真剣



研修以前に重視しているマナーについて、意外と知らないこともあり、プロ講師を招いてのマナー教室



入講後はすぐに夏野菜の作付けが始まる時期！各種野菜の特性などは皆さんまだよく分からなくても、土づくりや植え付け方法などの作業を体で習得している。



葉タマネギの試し掘り、いかがでしょう！



さすが1人で手際よくキャベツ収穫を行う2年生



ライムギのすき込み作業(上)
ジャガイモの生育中期(下)



初の太直売で販売員となる1年生たち



ジャガイモとタマネギの出荷に向けてジャガイモ畑でパチリ



ジャガイモの出荷作業(上)
エダマメの洗浄作業(下)



第2の販売員となるPOP
POP作成のプロから秘訣を教授



梅雨の合間に皆で一挙に収穫！
畑で丸1日乾かしてから搬出して調整作業



収穫の合間、商品PRのため皆でパチリ



スイカにはじめて挑戦する研修生！生育、管理について指導員と相談しながら真剣に取り組む